

「口腔扁平上皮癌における Desmoglein 1,2,3 の発現局在と細胞間橋構造 の関連性の検討」 研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2016 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日に山梨大学医学部附属病院歯科口腔外科および耳鼻咽喉科・頭頸部外科において口腔扁平上皮癌の切除手術を受けた方へ

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2029 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用および提供を開始する予定日

利用開始予定日：2025 年 11 月 1 日

4. 研究の目的

私たちは、口の中にできる「口腔扁平上皮がん」という病気について研究しています。

このがんでは、細胞と細胞のつながり（細胞間橋といいます）が壊れることで、がんが進行しやすくなる可能性があるといわれています。そこで本研究では、その細胞のつながりに関与している「デスモグレイン（DSG）1、2、3」というタンパク質に注目し、がん細胞の中でこれらがどのように存在しているか（どこにあるか、どのように見えるか）を、特別な染色方法（免疫組織化学染色）を使って詳しく調べます。

この研究により、がん細胞の性質や進み具合をより正確に判断する新しい指標が見つかることが期待されています。

5. 研究の方法

本研究では、2016 年から 2025 年の間に当院の歯科口腔外科もしくは耳鼻咽喉科・頭頸部外科で手術により切除された、口腔扁平上皮がんの検体（パラフィンという特殊な方法で保存された組織）を使って、がん細胞の性質を詳しく調べます。

特に、細胞内の「デスモグレイン（DSG）1、2、3」の量や場所を、免疫組織化学染色を行って確認します。また、「HE 染色」という基本的な染色法で観察される「細胞間橋」という構造との関係も調べます。

これらの情報から、DSG の変化と細胞間橋の壊れ具合が、がんの性質（例えば進み方の速さ、他の場所への広がりやすさ、病気の進行度など）とどう関係しているかを解析します。

得られた結果は、がんの診断や進行の予測に役立つ新たな指標（バイオマーカー）を開発するための基礎資料となることを目指しています。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報（年齢、性別、診断名、病期、治療内容など）
病理検査結果（がんの分化度、リンパ節転移の有無など）
検査データ（画像診断所見、血液検査結果など）

試料：手術で摘出した口腔扁平上皮がんの病理組織

研究目的で試料を新たに収集することはありません。

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学医学部 歯科口腔外科学講座 医員 古川 純也

【分担研究者】

山梨大学医学部 歯科口腔外科学講座 准教授 吉澤 邦夫

山梨大学医学部 歯科口腔外科学講座 医員 石山 敦也

山梨大学医学部 人体病理学講座 教授 近藤 哲夫

山梨大学医学部 人体病理学講座 特任助教 大舘 徹

山梨大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授 櫻井 大樹

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

本研究は、山梨大学が管理する研究費（奨学寄付金）を用いて実施する。

本研究の計画・実施・報告において、研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益の衝突」は存在しません。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としません

ので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

＜照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先＞

担当者の所属・氏名：山梨大学医学部 歯科口腔外科学講座 医員 古川 純也

住所：〒404-0013 山梨県中央市下河東 1110

メールアドレス：j.furukawa@yamanashi.ac.jp

Tel：055-273-9673